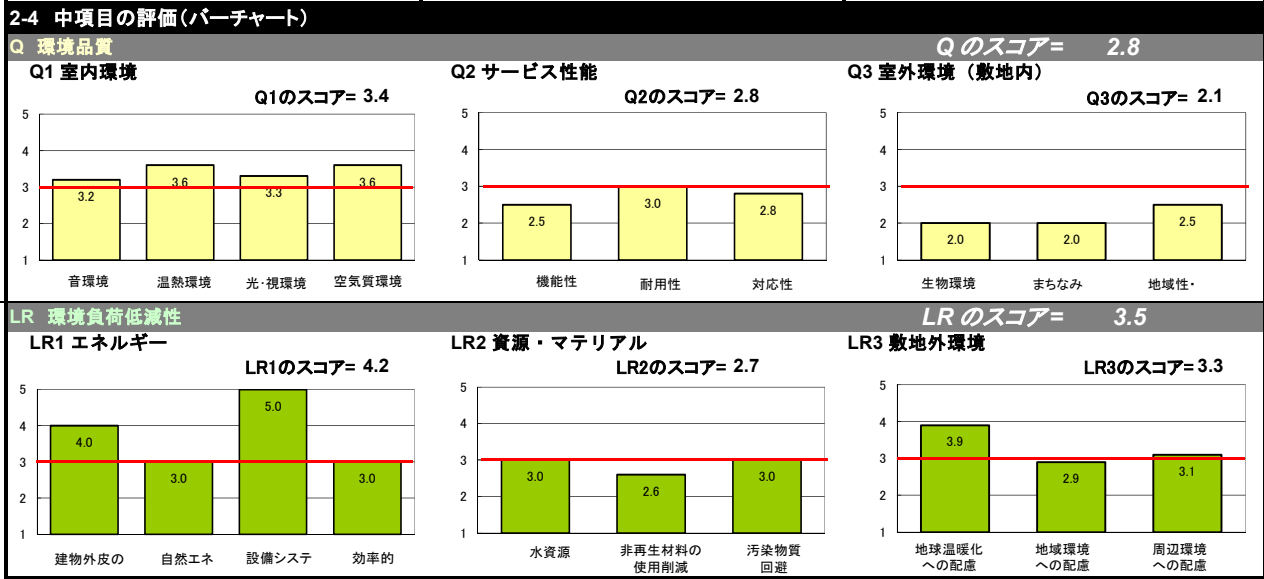
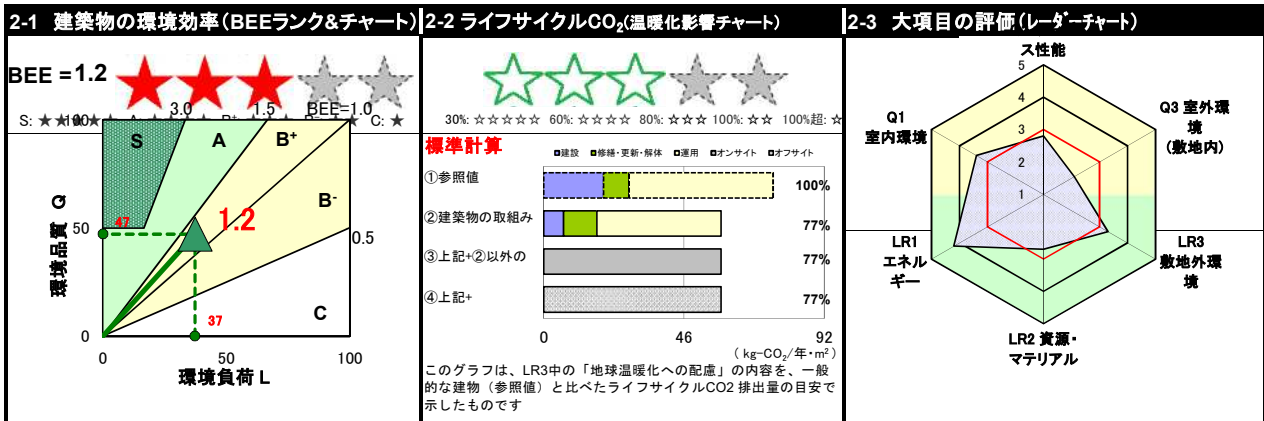


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大和市桜森2丁目計画 新築工事	階数	地上13F
建設地	神奈川県大和市桜森2-143-9	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	240 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年6月15日
敷地面積	635 m ²	作成者	(株)アート総合企画一級建築士事務所
建築面積	289 m ²	確認日	2022年6月15日
延床面積	3,218 m ²	確認者	(株)アート総合企画一級建築士事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		その他
総合	高層建物となる為、周辺に対して圧迫感が無いよう建物周囲を可能な限り空間を設け植栽を施した。	0
Q1 室内環境	専有部分について、断熱等性能等級4としている。また、遮音性の高いサッシを採用し、高い昼光率を確保している。他にもF☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	特になし
Q2 サービス性能	住宅性能評価における劣化対策等級3とし、空調・給排水配管の更新対策にも配慮を行っている。	
LR1 エネルギー	断熱等性能等級4、BEI=0.81としている。	LR3 敷地外環境 LC02排出率77%としている。
LR2 資源・マテリアル	壁・天井ともLGS下地を採用している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される